


(様式1)



報道資料

令和5年12月15日

1 件名	国宝瑠璃光寺五重塔の全面改修を契機とした観光誘客事業 空間アートプログラム「大内文化 思想をめぐる道」開始のお知らせ
2 日時	令和5年12月23日(土) 開始
3 場所	香山公園(山口市香山町7-1)
4 内容	<p>本市では、現在、香山公園において、国宝瑠璃光寺五重塔の全面改修を契機とした観光誘客事業として、“「大内文化」を花開かせた大内氏のマインドが空間アートに昇華する”を共通テーマに様々な空間アートプログラムを実施しています。</p> <p>この度、プログラムの一つである「大内文化 思想をめぐる道」の展示を12月23日(土)より開始します。</p> <p>併せて、展示期間のうち、10日間限定の特別夜間イベントとして、プロジェクションマッピングを開催します。</p> <p>(1) 空間アートプログラム「大内文化 思想をめぐる道」 展示期間：令和5年12月23日(土)から令和6年2月25日(日)まで 開催場所：香山公園塔影の池周辺通路(約45m) 内容：「大内文化 思想をめぐる道」は、香山公園塔影の池周辺通路約45mにわたり設置する、「和歌のカーテンゾーン」と、「スタンドグラスゾーン」で構成する空間アートプログラムです。</p> <p>和歌とスタンドグラスをモチーフとしたアート作品が、白いひも状のストリングスカーテンと共に空間を覆い、来場者を没入感ある体験へと誘います。</p>  <p>■和歌のカーテンゾーン 寸法：長さ約21m、幅4.1m、高さ2.5m 歴代当主が勅撰集に入集するなど、和歌に長けていた大内氏。「和歌のカーテンゾーン」では、大内氏歴代当主が詠んだ12首の和歌を題材としたアートとして、金属でかたどった和歌の一文字一文字を、カーテンの様に連ねて展示します。和歌の展示を通して、大内氏の脈々と受け継がれる思想を感じることができる空間を演出します。</p>



山口市

■ステンドグラスゾーン

寸法：長さ約25m、幅4.1m、高さ2.5m

「ステンドグラスゾーン」では、アクリル板を使用したステンドグラス風のアートを展示します。大内氏が、キリスト教や京都などの、様々な文化を柔軟に吸収しながら繁栄していく様子を、白いカーテンに映し出される、アクリル板が放つ色彩豊かな光で表現します。

※安全確保のため、下記施工期間は香山公園内の一部を立入禁止区域として設定します。

立入禁止期間：12月16日（土）～22日（金）

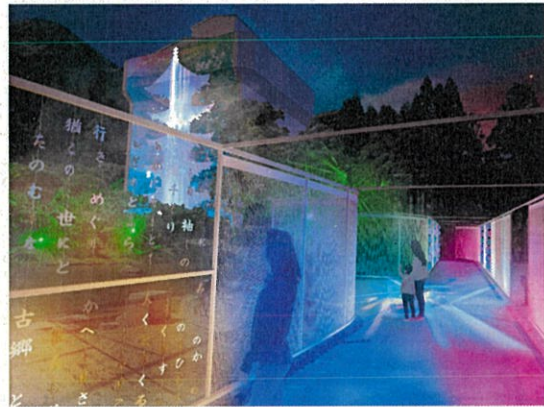
（2）特別夜間イベント：プロジェクションマッピング

展示期間：令和6年1月19日（金）～令和6年1月28日（日）まで

※期間中毎日18時～20時実施

内容：夜の空間演出としてプロジェクションマッピングを開催します。五重塔デザインシートをプロジェクションマッピングのスクリーンとして、大内氏の思想や来訪した歴史上の人物を彷彿とさせる映像を光のアートで表現します。

※詳細は改めて発表いたします。



交流創造部観光交流課（担当：西村）

TEL 083 - 934 - 2810

5 問い合わせ

【企画・制作】

株式会社 JTB 山口支店（担当：木原）

TEL 083 - 976 - 2302

【大内文化 思想をめぐる道・和歌12首について】

「勅撰集」・「準勅撰集」より選定。歴代に亘り和歌に秀でた大内氏を表す意味で、義弘（二首）盛見（一首）持世（三首）教弘（一首（句））政弘（五首（句）十一句）の句を選定。

「準勅撰連歌集」^{じゅんちやくせんれんがしゅう}「新撰菟玖波集」^{しんせんつくぼしゅう}においては政弘中心に多くの句が入集している為、春夏秋冬を感じる事の出来る連歌、並びに政弘の権勢を示す意味でも巻頭^{*}（付句一）・巻軸^{*}（発句一）を選定した。並びは「新後拾遺和歌集」^{しんごしゅういわかしゅう}「新続古今和歌集」^{しんしよくこきんわかしゅう}「新撰菟玖波集」^{しんせんつくぼしゅう}の順とし、最後を政弘の発句としたのは、次に続いていく、大内文化が今の世に続いている事を表現した。

※巻頭・巻軸：それぞれ和歌集や連歌集の最初と最後に位置する重要な部分。

① 日数のみ ふるのわさ田の 五月雨に ほさぬ袖にも とる早苗かな

「新後拾遺和歌集」（巻第七・雑春歌） 多多良義弘朝臣（大内義弘）

訳：日数だけが経つ、布留の早稲田の五月雨が降る中乾かない袖で取る早苗よ

② 逢ふ夜だに 猶ほしやらぬ 我が袖や 恨みなれにし 涙なるらむ

「新後拾遺和歌集」（巻第十三・恋歌三） 多多良義弘朝臣（大内義弘）

訳：恋しい人と逢う夜でさえまだ乾かしきらない、涙で濡れた私の袖であるなあ。

恨むことになれてしまった涙だからであろうか。

③ めぐりあはん たのみを月に 契りても 我が世ふけ行く 秋ぞはかなき

「新続古今和歌集」（巻第十七・雑歌上） 多多良盛見（大内盛見）

訳：めぐりあはん…月の規則的な運行を念頭にする。我世ふけ行一老いて行く様に秋が

更けていく様を重ねる。「はかなき」という把握に収斂（しゅうれん）する。

④ 峰におふる 松にもいまや かよふらん いなばの風の 夕暮の声

「新続古今和歌集」（巻第五・秋歌下） 多多良持世朝臣（大内持世）

訳：本歌「立ちわかれ稲葉の山の峰に生ふる松としきかば今帰りこむ」（古今・離別・行平）いまやか

よふらん…今は吹きつけているだろうか。夕暮れの声…夕暮れのさびしさをかきたてる風音。

⑤ さらにだに ほさぬ 袖しの浦千どり いかにせよとて ねざめとふらん

「新続古今和歌集」（巻第六・冬歌） 多多良持世朝臣（大内持世）

訳：さらにだに…千鳥が鳴かなくても涙に袖がぬれる。袖師の浦…出雲国の歌枕か。「袖」を掛ける。

「唐ころも袖師の浦のうつせ貝むなしき恋に年のへぬらん」（後拾遺・恋一・国房）

⑥ 行きめぐり 猶この世にと たのむかな 命をかぎる 別ならねば

「新続古今和歌集」（巻第十三・恋歌三） 多多良持世朝臣（大内持世）

訳：「行きめぐりあひ見まほしき別れには命もともに惜しまるるかな」（続古今・離別・実資）行きめぐ

り…時間がめぐって。具体的には、夕方が来て。命をかぎる別…死別。

⑦み山のかげの春のさひしさ

うくひすの 人くとつくる 人はこて

「新撰菟玖波集」(第一春連歌上) 多多良政弘朝臣(大内政弘)

訳:《前句》深山の陰の春は寂しいことだ。《付句》やっと春になったが、ここは人里はなれた山陰。鶯が「人来人来」と鳴いても、人は誰もやってこない。

⑧かへらはさくら恨みもやせん

古郷と みやこをおもへ 春の鴈

「新撰菟玖波集」(第一春連歌上) 多多良政弘朝臣(大内政弘)

訳:《前句》もし、私が帰るならば花開いた桜は恨みに思うことだろう。《付句》この都を自分の故郷と思い、帰らないでいなさい、春の鴈よ。桜を見ずに帰ってしまったなら、桜が恨むだろう。

⑨うすきたもとに風しほる比

なくせみの は山かすその 夕すゝみ

「新撰菟玖波集」(第三夏連歌) 多多良政弘朝臣(大内政弘)

訳:《前句》薄い袂に吹く風が湿り気を帯びてくる頃である。《付句》蝉の鳴いている端山麓で夕涼みをしている。ちょうどその頃、夕べの風が吹いて蝉のように薄い袂を湿らせることだ。

⑩かせたにもまたそれとなき秋はきて

荻のはやまに うすき三日月

「新撰菟玖波集」(第四秋連歌上) 多多良政弘朝臣(大内政弘)

訳:《前句》風でさえもまだそれと感じさせないほどの、秋が来たことだ。《付句》荻の葉風はまだ秋をはっきりと感じさせないが、その荻の葉の繁る端山には光微かな秋の三日月がでてきた

⑪まくらはいかに水のうきとり

うちはらふ 袖さへ雪の つもる夜に

「新撰菟玖波集」(第六冬連歌) 贈従三位教弘(大内教弘)

訳:《前句》水に浮いたまま寝る水鳥は枕をどうしてどのような思いで寝ているのであろうか。《付句》浮き寝の水鳥はどのように寝ているだろうか。雪が払っても払っても袖にさえ降り積もる夜に。

⑫よしや春一花さけるやとの梅

「新撰菟玖波集」(第二十発句下) 多多良政弘朝臣(大内政弘)

訳:まあ、これで春だと思って満足しようか。宿の梅が一輪だけ咲いていたことだ。

【参考文献】

「新撰菟玖波集:明応本」横山重・野口英一 校訂

「戦国武士と文芸の研究」米原正義 著

「室町戦国日本の覇者大内氏の世界をさぐる」大内氏歴史文化研究会/伊藤幸司 責任編集

「新後拾遺和歌集」松原一義・鹿野しのぶ・丸山陽子 著/久保田 淳 監修

「新続古今和歌集」村尾誠一 著「新撰菟玖波集全釋」奥田勲 [ほか] 共編

国宝瑠璃光寺五重塔の全面改修を契機とした観光誘客プロジェクト

昇華

-shouka-

大内文化

空間アート
プログラム

「大内文化 思想をめぐる道」

2023
12.23日
2024
2.25日

会場

山口市香山公園

「和歌のカーテンゾーン」と「スタンドグラスゾーン」の連続した2つの覆われた空間は、大内文化を花開かせた大内氏の思想と大内氏が様々な文化を吸収しながら繁栄してきた様子を表現しています。

まるで体内を歩くように、大内氏の豊かな思想の世界に没入し、山口市に息づく大内文化を感じてみませんか。

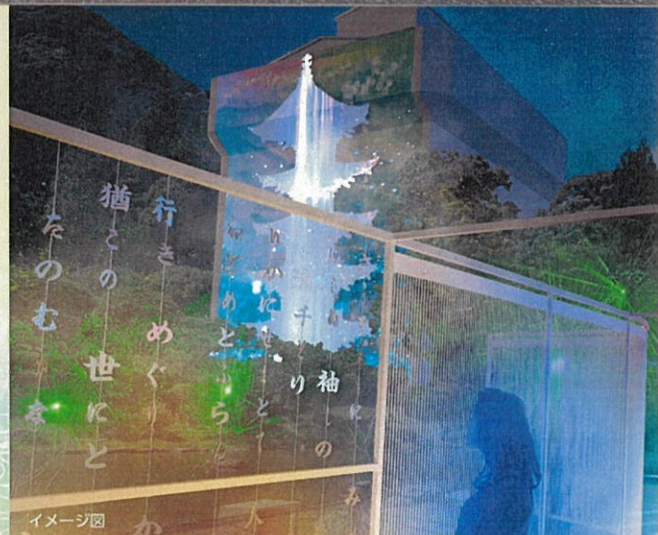
イメージ図

大内氏の思想を光のアートで表現 プロジェクションマッピング

2024年1月19日(金)～1月28日(日)

期間中毎日18時～20時実施

夜の空間演出としてプロジェクションマッピングを開催します。五重塔デザインシートがプロジェクションマッピングのスクリーンとなり、大内氏の思想や山口に惹かれて来訪した歴史上の人物を彷彿とさせる映像を光のアートで表現します。美しい映像に包まれながら、山口市に息づく大内氏の思想を体験してください。



イメージ図

大内文化 思想をめぐる道

大内氏の思想へと導く 和歌のカーテン

歴代当主が勅撰集に入集するなど、和歌に長けていた大内氏。「和歌のカーテンゾーン」では、大内義弘、盛見、持世、教弘、政弘が詠んだ和歌12首を題材としたアートとして、金属でかたどった和歌の一文字一文字を、カーテンの様に連ねて展示しています。和歌の展示を通して大内氏の豊かな思想を感じることができる空間を表現しています。



よしや春 一花さける やとの梅

「新撰菟玖波集」 多多良政弘朝臣(大内政弘)

まくらはいかに 水のうきとり うちらはふ
袖さへ雪の つもる夜に

「新撰菟玖波集」 贈従三位教弘(大内教弘)

逢ふ夜だに 猶ほしやらぬ 我が袖や
恨みなれにし 涙なるらむ

「新後拾遺和歌集」 多多良義弘朝臣(大内義弘)

空間アートの昇華する
大内氏歴代当主の和歌12首の中から一部紹介

大内氏の栄華を表す スタンドグラス

大内氏は、京都の文化やキリスト教などの異文化を積極的に取り入れ、独自の「大内文化」を築きました。「スタンドグラスゾーン」では、アクリル板を使用したスタンドグラス風のアートを展示。白いカーテンに映し出される、アクリル板が放つ色彩豊かな光は、大内氏が様々な文化を柔軟に吸収しながら繁栄していく様子を表現しています。



香山公園内では、ほかにも様々な空間アートプログラムを開催中



大内氏の思想を纏う五重塔
(デザインシート)



大内氏の栄華を表す花のモニュメント



大内氏と五重塔がわかる「時代絵巻」



AR 動画「切り絵で魅せる五重塔」

山口市香山公園

山口県山口市香山町 7-1

(主催) 山口市交流創造部観光交流課
(企画・運営) 株式会社 JTB 山口支店



「昇華 -shouka- 大内文化」
<https://shouka-ouchi.jp/>

